

## 第27回流域委員会の審議骨子

第27回「九頭竜川流域委員会」が平成17年1月25日にユウ・アイふくいにおいて、開催されました。



### これまでの九頭竜川流域委員会の経緯

開催日程	委員会での審議内容
平成14年 第1回(H14.5.9) } (第8回(H14.12.26))	九頭竜川流域委員会設立(流域委員会の規約等) 委員会の進め方、スケジュール等 九頭竜川水系の現状と課題について 現地視察(九頭竜川水系の現状説明等) 住民意見聴取の方法等について 九頭竜川水系の利水と環境について これまでの九頭竜川流域委員会で出された意見の論点整理 等
平成15年 第9回(H15.1.30) } (第17回(H15.12.3))	九頭竜川水系の河川環境の整備と保全について 治水・利水の目標設定にあたっての基本的な考え方 河川環境の整備と保全に係わる目標設定の考え方 河川整備計画における治水計画の考え方(案)[検討対象洪水の選定と評価] 九頭竜川水系(支川群)の河川整備計画の考え方について 九頭竜川水系中流部ブロックの河川整備計画の内容について 九頭竜川・日野川・足羽川の治水整備メニュー(案) 九頭竜川水系の目標流量に対する対応策について 等
平成16年 第18回(H16.1.29) } (第26回(H16.12.22))	河川環境の課題と対応方針(案) 利水・利用の課題と対応方針(案) 九頭竜川足羽川ブロックの河川整備計画の内容(足羽川本川を除く) 足羽川の治水、環境・利水について 九頭竜川水系の治水計画について 治水専用ダムについて 九頭竜川水系下流部ブロックの河川整備計画の内容について 九頭竜川水系日野川ブロックの河川整備計画の内容(日野川本川を除く)について 九頭竜川水系日野川ブロック及び吉野瀬川ダムの河川整備計画について 「足羽川洪水災害調査対策検討会」(福井県知事設置)の目的及び審議の範囲 福井豪雨の報告及びダムの効果について 福井豪雨を踏まえた治水計画 新提案治水計画における整備メニュー 主な質問に対する追加説明及び河川激甚災害対策特別緊急事業の採択について 九頭竜川水系の今後の河川整備について 河川整備の目標・実施内容について 九頭竜川水系各ブロックの河川整備の内容について 住民意見聴取について 等
第27回(H17.1.25)	九頭竜川水系の今後の河川整備について 住民説明会で使用する説明資料(概要版)について 住民意見聴取について 九頭竜ダム・真名川ダムの堆砂状況について

## 第 27 回流域委員会の審議骨子

当日は 19 名の委員が参加し、河川管理者から「九頭竜川水系の今後の河川整備について」と「住民説明会で使用する説明資料（概要版：足羽川流域パンフレット〔案〕）について」の説明がなされ、意見交換が行われました。つづいて、「九頭竜川の河川整備づくりに向けた今後の流れについて」の説明がなされ、その後に前回からの継続審議として「住民意見聴取について」の意見交換が行われました。

### 1. 九頭竜川水系の今後の河川整備について

これまでの委員会での審議内容や出された意見を踏まえて作成した「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明資料」に基づき説明した主な内容は、以下に示すとおりです。

#### 河川整備の目標と整備内容

- (1)川づくりの基本的方向
- (2)計画策定、実施のあり方
- (3)洪水等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

以上の説明を実施した後に、次のような質問や意見が出されました。

1. 目標流量選定フローについては、もう少し内容をクリアにし、わかりやすい表現で整理した方がいい。
2. 説明資料については、一般の方でもわかるように理解を促すような図の添付や専門用語の解説を加える等の配慮をした方がいい。
3. 資料については使い分けを明確にし、その目的に応じて作成した方がいい。
4. 説明資料については、図・表やこれらに記載されている文字・数字を大きくわかりやすくし、もし一般の方も目にするのであれば、専門用語の解説を添付した方がいい。

### 2. 住民説明会で使用する説明資料（概要版）について

「住民説明会で使用する説明資料（概要版）について」は、足羽川流域を対象に作成した概要版（パンフレット〔案〕）に基づいて説明を実施し、次のような質問や意見が出されました。

5. 「これからの川づくりの目標」については、委員会である程度合意を得た内容をこういうパンフレットで最初に説明した方がいい。
6. パンフレットの目標は概念的な話であり、例えば費用対効果の問題や、治水と利水の対立するような具体的な内容を含むことは難しいのではないか。

## 第 27 回流域委員会の審議骨子

- 7 . 住民説明会では、今後の河川整備をどのようなスタンスで考えているかを最初に説明した方が中身を真剣に聞いてくれるのではないか。
- 8 . 資料については、流域委員会で説明した資料が取りまとめられており、委員会で出された様々な意見が反映されているとは言い難いのではないか。
- 9 . パンフレットで使われている言葉が少し行政的なので、わかりやすい言葉や表現を心がけて欲しい。
- 10 . パンフレットはあくまでも説明するための資料であることから、行政が住民に対してどれだけわかりやすく説明し、意見を聴取できるかがより重要である。
- 11 . 「考えうる複数の治水対策（案）」では、治水対策は流域全体で取り組む必要があり、そのために複数の案を検討する必要があることを理解してもらうことが重要である。
- 10 . 「これからの川づくりの目標」には、利水だけでなく、治水についても環境を非常に重視しているという思いを入れて欲しい。
- 11 . 河川法の改正点として、「環境」が一つのキーワードである。パンフレットのはじめの文章の中でも「環境」という概念を入れて欲しい。
- 12 . パンフレットのはじめの文章は河川整備の規範となる部分であり、その中に「流域委員会」と「環境」という言葉を入れて欲しい。
- 13 . パンフレットの内容について逐一合意する必要はないが、流域委員会として基本的な方向性については確認しておく必要がある。むしろ、流域委員会の中で少し議論が分かれたような点について記載してみてもどうか。
- 14 . 治水対策（案）の検討では、住民から多くの意見を促すきっかけとして、委員会の中でも多様な意見があった旨を紹介して欲しい。
- 15 . パンフレットは、環境や地域との連携・協働等と比較して治水優先のつくりとなっている。
- 16 . パンフレットのはじめの文章については、できる限り委員会で議論し、その内容を記載した方がいい。
- 17 . 「地域との連携・協働による川づくり」の中に、住民説明や意見聴取等の具体的な内容を記載してみてもどうか。
- 18 . 足羽川流域のパンフレット（概要版）については、委員からの意見をできる限り反映させ修正し、他の流域についても同様に作成していく。

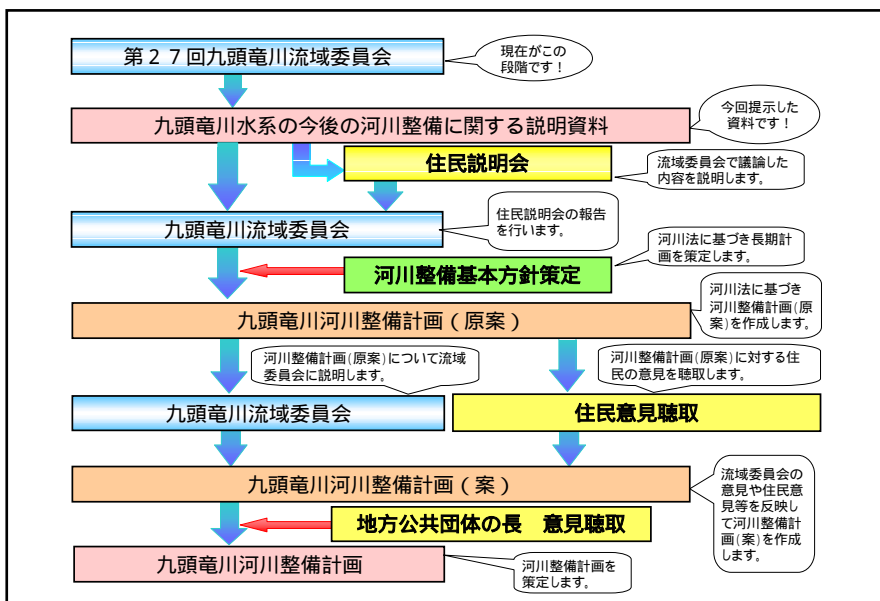
## 第 2 7 回流域委員会の審議骨子

### 3. 住民意見聴取について

はじめに「九頭竜川の河川整備づくりに向けた今後の流れについて」に関して説明し、その後前回からの継続審議として「住民意見聴取について」の意見交換が行われました。

19. 住民説明会等に委員はオブザーバーとして参加するということが、委員に対して質問がきた場合の対応について考えておく必要がある。
20. 住民説明会等での委員は、住民からの意見を肌身に感じる事が重要である。もし、流域委員会としての意見を問われたなら、そこに参加している委員が意見を発言してもいいのではないか。
21. 委員は、住民からの意見をできるだけ聞くというスタンスが良い。流域委員会としての意見はどうかと問われた場合に、各委員がバラバラの返答をするのは問題である。
22. 各委員が流域委員会の意見を代弁するのは非常に難しい。住民説明会等での委員は、あくまでも意見を聞くという立場で参加し、その時の問題点等について流域委員会で議論してはどうか。
23. 委員は、住民説明会等にできる限り参加し、そこで出された意見や問題点等を流域委員会に持ち帰って審議するというスタンスとする。
24. 今後の予定としては、これまでの審議内容を踏まえ、「九頭竜川水系の今後の河川整備に関する説明資料」やパンフレット（概要版）等を用いて住民説明会を実施していく。

### 「九頭竜川の河川整備」づくりに向けた今後の流れ



## 第 2 7 回流域委員会の審議骨子

### 4 . 九頭竜ダム・真名川ダムの堆砂状況について

前回の委員会の質問を受けて「九頭竜ダム・真名川ダムの堆砂状況について」に関して説明した主な内容は以下に示すとおりです。

- (1)ダムの堆砂量
- (2)堆砂量の推移（九頭竜ダム・真名川ダム）
- (3)貯水池縦断図（九頭竜ダム・真名川ダム）

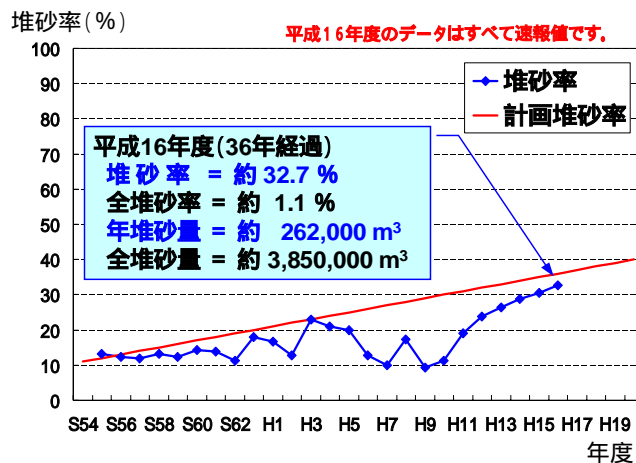
以上の説明を実施した後に、次のような質問や意見が出されました。

2 5 . 堆砂土砂の成分について土質調査を実施しているのか？

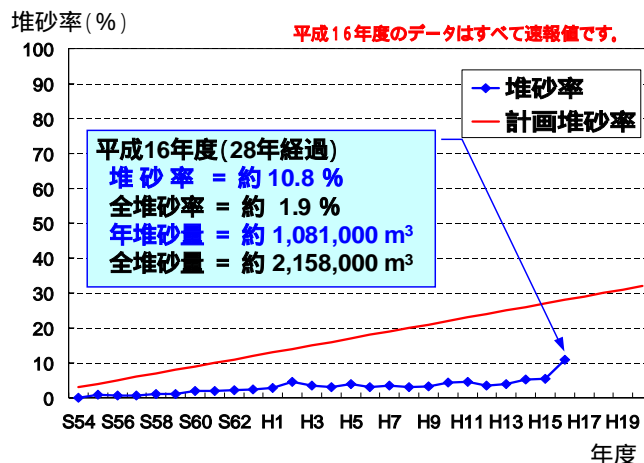
現在のところ、土質調査は実施していない。

2 6 . 平成 16 年の真名川ダムの堆砂量が 1 年間で非常に上がっているということは、非常に大きな洪水が発生した証拠である。この結果から、ダムが土砂をせき止め、下流河川の河床の上昇を抑えることにより洪水を防いだという効果を確認することができる。

#### 九頭竜ダム 堆砂量の推移



#### 真名川ダム 堆砂量の推移



計画堆砂容量  
100年間にダム貯水池に堆積すると  
予想される流入土砂を蓄える容量(m<sup>3</sup>)

堆砂率 (%)  
= 堆砂量(m<sup>3</sup>) / 計画堆砂容量(m<sup>3</sup>)

全堆砂率 (%)  
= 堆砂量(m<sup>3</sup>) / 総貯水容量(m<sup>3</sup>)